

人のためにできることからコツコツと

RE:TA



看板デザインプロジェクト完成

地域の物語をデザイン

八幡中学校美術部 × 静岡文化芸術大学 × 常盤工業株式会社

TOKIWA サステイナブルニュース

看板デザインプロジェクト完成

ホワイトリボンラン紹介

浜松市マイスター認定

ときはまフェス2022

コラム 一結杏然





浜松市の景観を観察し、大きな紙に記録スケッチ



デザイン学部の大学生に技術を教わる

八幡中学校美術部×静岡文化芸術大学×常盤工業株式会社 看板デザインプロジェクト完成



このまちと共に

常盤工業の倉庫看板に素敵なデザインが出現しました。実は地元の八幡中学校美術部と静岡文化芸術大学がコラボして完成させたんです。未来へ続くこのまちを考えながら地域の物語をデザインで表現した力作をぜひご覧ください。

どんなコラボをしたの？

8月中旬の4日間を利用して、常盤工業や文芸大キャンパスでデザイン制作を行いました。最初は常盤工業から見える建物を1分間で記憶。記憶を元に大きな台紙にスケッチをしていきます。写生とは違った対象物を捉えたイメージの表現が感じられて、見ている側もとても楽しい時間でした。そのスケッチをデジタル化して組合せながら編集していきます。普段は入れない大学キャンパスの一角で、初めて使うパソコンソフトでの作業に中学生も最初は緊張していましたが、すぐに操作も覚えてしまいました。うらやましいほどの吸収力です！その後のカラーリングやキャラクターデザインなども大学生と中学生が和気あいあいと進めていき、完成した作品をみるとそんな楽しい雰囲気も伝わってきます。

常盤工業は街をつくる建設会社です。私たちは街づくりを通じて、皆さんの生活をより豊かに暮らしやすくしていきたいと思っています。特に地元の皆さまには親しんでいただける存在でありたいと思います。住宅街の中でご迷惑をおかけしてしまふこともあるのですが、倉庫の看板も地域に愛される景観にしてきたいということでこのようなデザインプロジェクトを企画致しました。未来を明るくパツと照らすような作品となり私たちも見ていて嬉しくなります！

他にも2作品があります！

今回のプロジェクトで制作されたのは3作品。残り2作品もいざれ看板にお目見えします。次の作品はいつになるんでしょうか？暖かく花の咲くころになるかもしれません。是非そちらの作品もお楽しみに！

Special thanks 文芸大 磯村教授

文芸大 大学院生&大学生の皆さま

八幡中学校 先生方美術部員の皆さま

RE;TA
ってどういう意味？

常盤工業の社は「自利 利他」を由来にしています。他者を利することが、Re=自利に返ってくる。それが繋がり(「;」は接続の意味がある)と感謝(「ta」はありがとうの意味がある)を生み出していく。その繰り返しでサスティナブルな社会をつくっていく。そんな想いを込めてRE;TAと名付けました。

3年前から参加している ホワイトリボンランをご紹介します

2023年も走ります！ 2023年3月4日(土)浜松城公園にて開催
「走ろう。自分のために。誰かのために。」
ぜひ一緒に走りましょう。

ホワイトリボンランとは

2分に1人、妊娠や出産で女性が命を落としている現状を変えるためのチャリティーランイベントです。そのような危機に晒された女性の保健支援にエントリー費の一部が使われる一方で、走ることで私たちの健康も見直すきっかけとしていきます。

トキワがなぜ参加？

これまで沢山の保育施設を建設してきましたが、より子育てしやすい、男性も女性も生きやすい社会にしていきたいと考えてます。このイベント参加を通じて身近な人の健康への思いやりを増やしていきたいです。



みんなで楽しく走っています



家族ぐるみの参加者も



1つ星からスタート



鈴木康友市長より認定証

浜松市 CSR 活動表彰の優秀賞を通算 3 回獲得して「Star Prize 制度」マイスター認定を受けました。マイスター認定は当社合せて 2 社のみです。1 つ星からスタートして、認定を重ねると星が最高 5 つまで獲得できるそうです。今後も社会に貢献し、必要とされる企業として努めて参ります。

CSR 活動企業
浜松市マイスター認定





福引も大好評



マルシェでお買い物

ときはまフェス2022

6月に「ときはまスクエア」完成オープニングイベントとして、ときはまフェス2022を開催しました。2日間とも天候に恵まれて大盛況！ご来場頂いた皆さまありがとうございます。ありがとうございました。K i m i xの公開放送からスタートしたイベントは、トークショーやセミナー、30店を超えるマルシェ、マジックや音楽ライブのスペシャルステージなど内容

盛りだくさん。来場者の方々から「楽しい！」という声が聞けて、コロナ禍で遠ざかっていた「楽しさ」とはこんなにも大切なんだと思い知らされました。これからも様々な機会を通して地域の皆さまの声を聞いていきたいと思えます。そして今回お聞かせ頂いた「楽しい！」イベントも企画していきたいと思えますので、是非その際にはたくさんのご来場をお待ちしております。

column

一結杳然 ウオツシュと疲れ

「SDGsウオツシュ」「SDGs疲れ」という言葉を最近耳にします。SDGsが浸透する一方で、見せかけのSDGsも横行していたり、溢れかえるSDGsに辟易してたり…。私も同じように感じる時もありながらこの渦の中にもいるような気がする複雑な思いです。

流行とは恐いもので、乗っかってしまうラクスさに流されて本質を忘れてしまうことが誰にでもありえます。そんな予防策として



私は時たま毒を吐くようにします。「綺麗ごとばかり言ってるんじゃない」とみずから突っ込む感じでバランスを保つように。SDGsの考えにもトレードオフ（反作用）というものがあり、そこに通じるのではないかと勝手に思っています。毒づいているときもそんな訳ですので、びっくりしないようにご理解頂ければ幸いです。

（社長室 高橋脩夫）